

「蓮舫氏の対抗馬」擁立難航

民進党代表選（9月15日投開票）をめくり、非主流派を中心とした候補擁立作業が難航している。前原誠司元外相と長島昭久元防衛副大臣、玉木雄一郎国対副委員長が出馬に意欲を示すが、主流派が擁立する蓮舫代表代行に勝て

必要な20人の推薦人確保にも苦戦。細野豪志元環境相は蓮舫氏を支援する可能性もあり、主流派からは無投票当選の可能性を模索する動きすら出始めている。

（千田恒弥）

民進代表選

非主流派、推薦人集めに苦戦

「あなたも出た方がいいわ」が岡田克也代表を支えた主流派蓮舫氏は5日、代表選の出馬に加え、一部の保守系まで馬会見直後、国会内の玉木氏支持を広げているのは対照的だ。

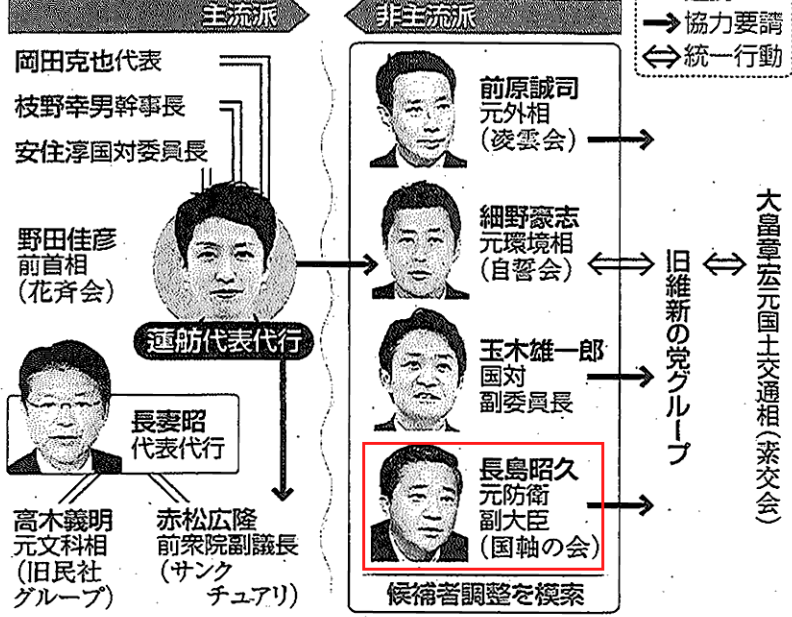
非主流派では長島氏が1日見せつけた。玉木氏は「まだ（代表選出が）決まったようではない」と強がるのが精いっぱいだった。玉木氏は憲法改正議論にも前向きな姿勢を示し、世代交代を求める若手に支持を広げつつある。

「あなたも出た方がいいわ」が岡田克也代表を支えた主流派蓮舫氏は5日、代表選の出馬に加え、一部の保守系まで馬会見直後、国会内の玉木氏支持を広げているのは対照的だ。

非主流派では長島氏が1日見せつけた。玉木氏は「まだ（代表選出が）決まったようではない」と強がるのが精いっぱいだった。玉木氏は憲法改正議論にも前向きな姿勢を示し、世代交代を求める若手に支持を広げつつある。

支持広げらぬ前原氏
非主流派でとりわけ焦りを募らせるのは前原氏だ。前原氏は平成27年1月の旧民主党代表選で細野氏の支援

民進党代表選 蓮舫氏の対抗馬は？



に回り、出馬を見送った。周囲に「推薦人は集まる」と意欲をみせるが、党内の世代交代論も逆風となり支持が広がらない。

前原氏は8日発売の月刊誌「世界」で、共産党との選挙協力について「政策論議を深め、共闘のフェーズ（段階）をさらに進化させる」として条件付きで容認した。かつては民共共闘を「シロアリみたいなもの」と否定しており、方針転換は「代表選の情勢が好転せず、焦りのあらわれ」（中堅）との見方もある。

カギを握る細野氏
こつた中、非主流派でカギを握るのが細野氏だ。会長を務める党内派閥「自誓会」内の細野氏擁立論にも「自らはこだわらない」とかわし、蓮舫氏とも接触し、連携の可能性すら含みを持たせている。

一方、自誓会と岡田執行部の党運営に批判的な大島章宏元国土交通相の「素交会」、旧維新の党グループの3派は先週、水面下で会合を重ね、代表選で一致して行動することを確認した。「無投票は避け党刷新が打ち出せる候補を推す」（素交会幹部）方向だ。しかし、非主流派閥の候補者調整は一向に進まず、このままでは蓮舫氏の当選が濃厚だ。党内では「小異を捨てて大同につけない、旧民主党のDNAが再び頭をもたげている」（閣僚経験者）との皮肉も漏れる。

主流派では、長妻昭代表代行が出馬の芽を探る。ただし支持基盤の赤松広隆前衆院副議長は旧社会党系グループなどとは、蓮舫氏を推す声が強